

## A 小野路宿里山交流館

スタート&ゴール地点となる「小野路宿里山交流館」は、江戸時代に宿場として賑わったこの地域の一軒の旅籠(旧角屋)を改修し、2013年にオープンした観光施設。自然を楽しむ里山散策の「休憩所」や「うどん作りイベント」など、多くの方が訪れているほか、「結婚式場」としても利用されている。

■開館時間 9:00~17:00  
 ▲町田市小野路町888-1  
 ☎042-860-4835  
 ②向かいのタイムズ(30分無料)  
 トイレ有



## B 小野神社

小野神社の創建は、菅原道真の先輩にあたる漢学者で、学問の神様ともいわれた小野篁の七代後の子孫・小野孝泰が、平安時代の天禄3年(972年)ごろ武蔵の国司として赴任し、この地に篁の霊を祀ったことに由来する。平安時代を代表する書家の小野道風は篁の孫。

▲町田市小野路町885



奈良ばいは、小野路城から小山田城に行くときに兵隊に「ならべー」と言ったのが由来という言い伝えがあります。

奈良ばい谷戸

コースガイド  
 約5km・1時間30分コース

- 1 小野路宿里山交流館からスタート
- 2 小野神社で参拝
- 3 町田市農業研修農園横を通り、右のゆるやかな坂へ
- 4 六地藏を抜けて道なりへ
- 5 鋭角に左折すると、畑が現れ、小野路の里山風景が広がる《ビュースポット(★)》
- 6 牛舎を通過
- 7 突き当りを左折、雑木林を道なりに進む
- 8 三叉路を直進
- 9 図師小野路歴史環境保全地域の説明板がある二股を右へ行き送電鉄塔を通過

- 10 二股を左へ行くと下り坂となり、竹林を楽しむ
- 11 ベンチを通過、奈良ばい谷戸の一角に
- 12 畦道を右折して対岸の道へと進む
- 13 みどりのゆびの道標がある三叉路を左折し、道なりに進む
- 14 バス通りに出て、道を渡り、二股を右折
- 15 鋭角に左折し進むと、関屋の切り通し・布田道を通る
- 16 みどりのゆびの管理緑地の看板まできたらバス通りへと引き返し、小島資料館に進み、交流館へ戻ってくる

小野路宿里山交流館では小野路産の地粉を100%使用したうどんを提供。天ぷらや煮物などの日替わり小鉢も楽しめます☆



## C 関屋の切り通し

調布の布田宿と小野路をつなぐ布田道の切通し。かつては鎌倉街道の関所があったとされる場所。また関屋城砦もあったと言われ、城の空壕跡や鎌倉古道の跡も残されている。幕末には新選組が通り、小島道場へと出稽古に訪れた道であり、沖田総司が病にかかった際に、馬の背に乗りこの道で江戸へ向かったとされている。



# まちださんぽ の 小野路

「フットパス」は、森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある、ありのままの風景を楽しみながら歩くことをいいます。普段の生活ではなかなか見られない町田の別の顔もお楽しみください。

監修:NPO法人みどりのゆび

小野路は鎌倉と府中(武蔵国の国府があった)を結ぶ鎌倉街道の古い道筋にあたり、さらには江戸時代の初めには徳川家康の御霊を駿府から日光東照宮に移す際の千人もの大行列が通過するために新たな道が整備され、後には相模大山詣での道となつて幕末前後まで宿場として機能しました。府中に行く人々は日没になると、「こ」で泊まったところで旅籠も幕末には6件あったそうです。家康の御霊を運ぶ大行列が小野路宿の前の向坂にさしかかった時には、櫃(御霊を乗せた入れ物)を乗せた車の車軸が折れてしまい、小野路の人たちが鍛冶屋を呼んで修理したという話が伝わっています。

## 【小野路を歩く心得】

小野路の素晴らしい里山景観は、農家の方々の営みや、地域の方々の長年にわたる保全活動によって支えられています。散策される方は以下のことに留意してマナーを守り、感謝の気持ちを忘れずに小野路を楽しんでください。

- ルート以外に入らない。道があっても民有地の場合があります。
- 樹林地、耕作地、敷地内などに踏み込まないようにしましょう。

## D 小島資料館

名主・小島家が開いていた剣術道場で、新選組の近藤勇や土方歳三、沖田総司らが出稽古に訪れていた場所。小島家の私設資料館には、新選組関連から町田市近辺の歴史資料まで約7,000点もの東京都有形文化財が保管されている。

■開館 第1、第3日曜13:00~17:00  
 ▲町田市小野路950  
 ☎042-736-8777  
 コロナ感染拡大の影響により現在休館中  
<http://www.kojishir.com>

